

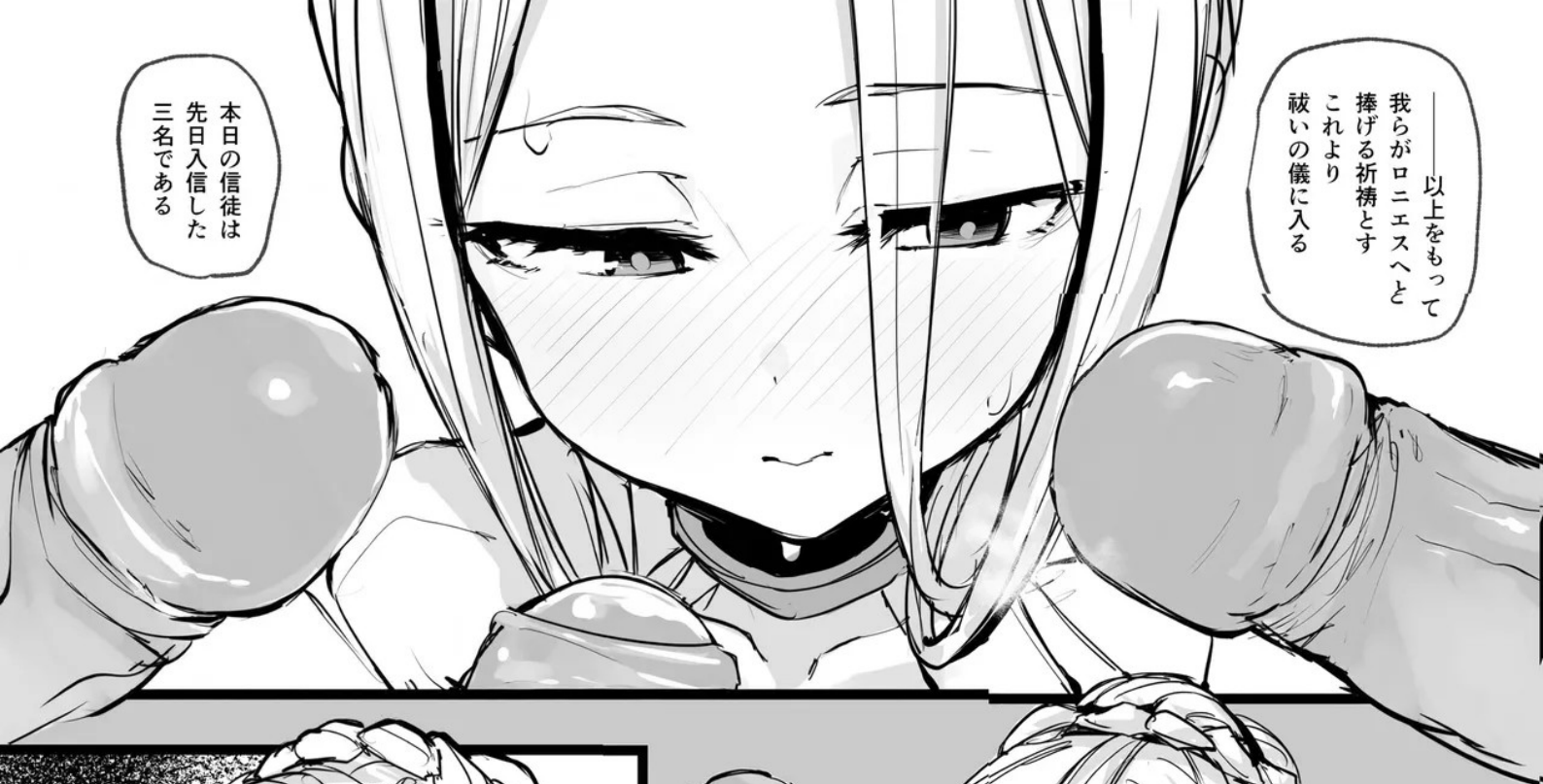
HEARTLESS



for adult only

——以上をもって
我らがロニエスへと
捧げる祈禱とす
これより
祓いの儀に入る

本日の信徒は
先日入信した
三名である



ソニア
この者たちの穢れを
祓ってあげなさい

は…はい…
お師様…

失礼いたします…



6月4日
今日から日記を書きます。



孤児院の人が
書いてほしいって。



新しいおうちに
引き取られました。

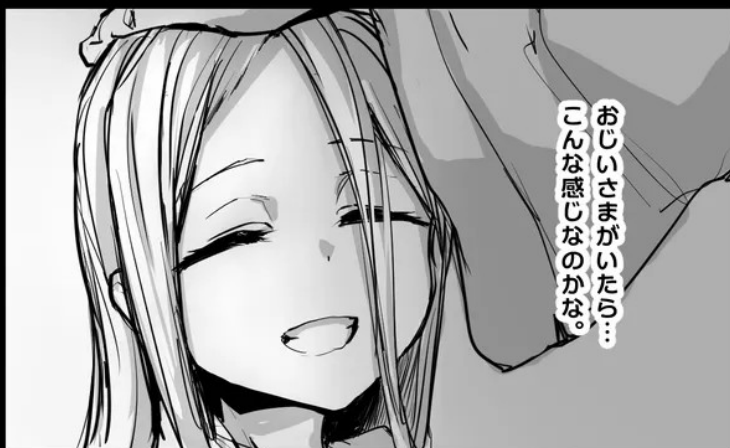
フェルネ教？っていうのは
よくわからないけど
優しいおじいさんでよかったです。



でもお師さまが優しく
教えてくれるから
がんばれます。



おじいさまがいたら…
こんな感じなのかな。



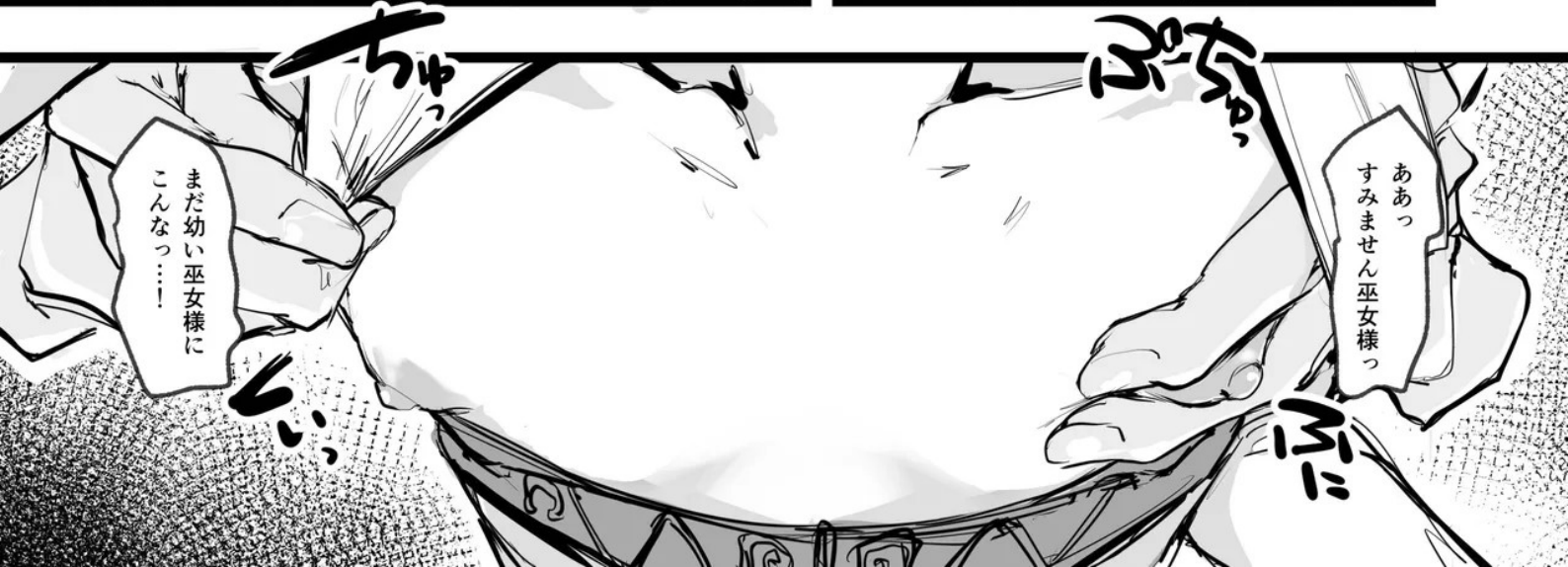
6月10日
お師さまはたくさんのことを教えてくれます。
学問のこと。食事のマナー。芸術。言葉づかい。
フェルネ教の教えは
私には難しくて
よくわかりません。
もっと勉強しなげや。



ソニア

君には穢れを祓う
特別な力があるんだよ









もし新たに穢れを
吐き出したくなっても
我慢なさらずに



それでは舌で穢れの塊を
落としていきます



れんふ...っ
受け止めまふ
ふっ...んっ.....



好きなほひに

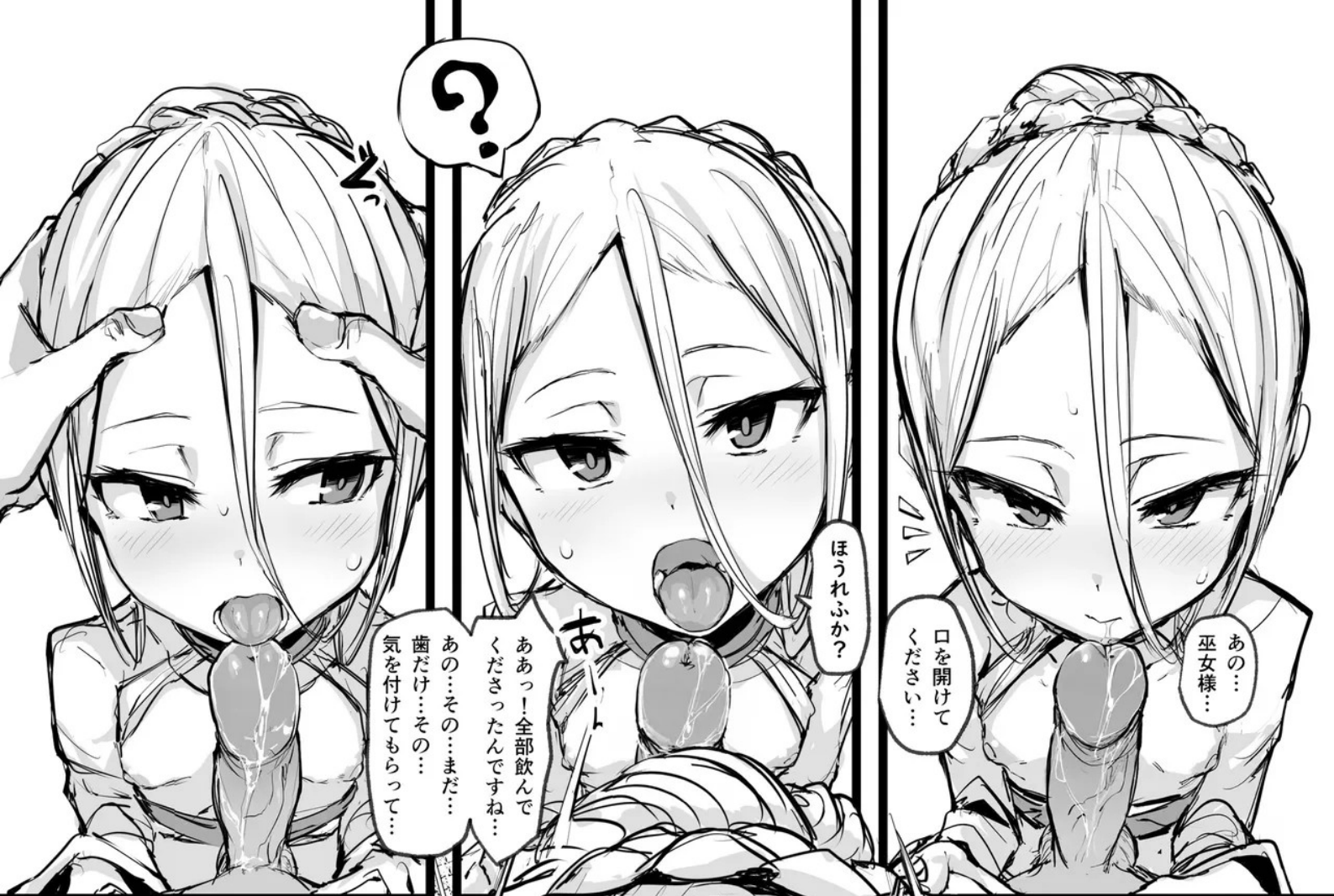


吐ひらひへくらはい













あの…巫女様…
再び穢れが…

俺も…
お願いします！

と、取り乱してしまい
申し訳ございません…
改めてお願いします…



こっちもっ
こっちも
お願いしますっ！

あ...ああ...
頬も柔らかい...

まさか一日に二度も
お願いできるとは...

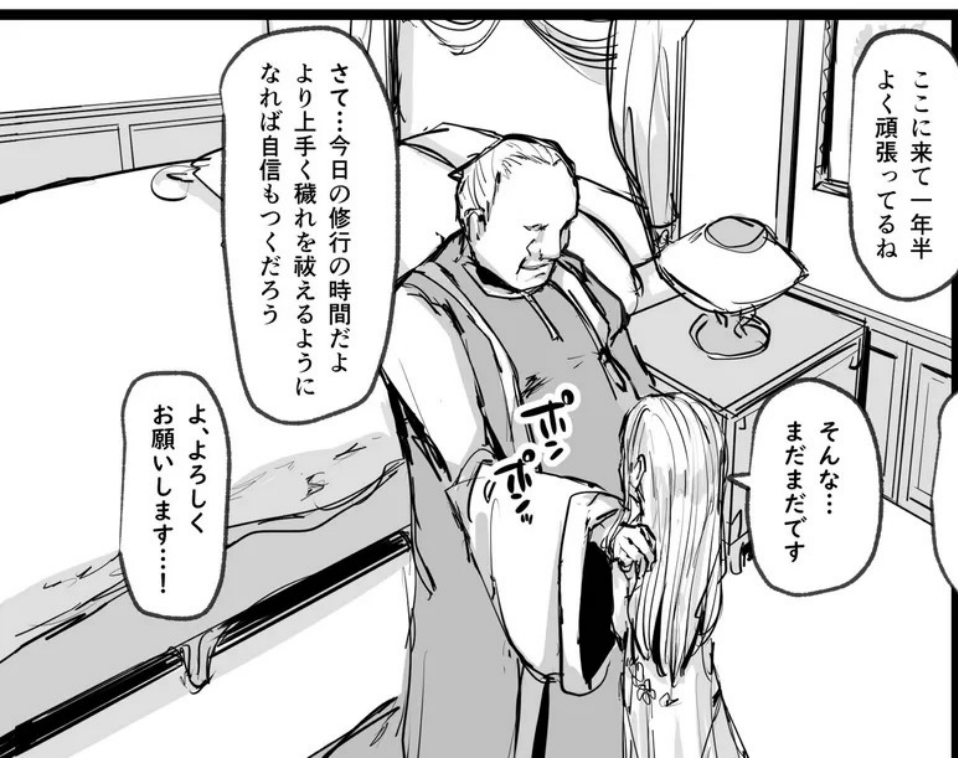


うう...っ
こんなんじゃ
またすぐに...

穢れが込み上げてっ
お赦くださいっ

ぼ、僕も
失礼しますっ

で
射精ますっ



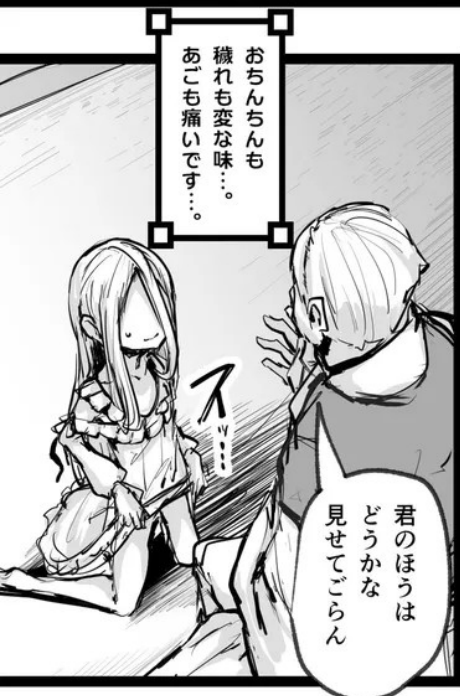


6月12日
検査でいろんなところを触った後
穢れを祓うための修行が始まりました。

もう十二月か
どうりで
寒いわけだ
暖めておくれ

はい...お師さま

まずは挨拶の練習から。
口でふれると穢れが
出ていきやすくなるそうです。





もう少し念入りに
濡らしておこう
気持ちいいだろう



8月9日

ふむ少し濡れている...
身体が穢れに敏感に
なってきたいるね

でも穢れが出ていくときの
お師さまはとても気持ちよさそう...
ちよっと嬉しいかも。



トクッ

夜からはお師さまと
私だけで行う
「折りの修行の
説明を受けました。
でも...



よし
おいで

ここまで
挿入るからね



ほんとにお師さまの
おちんちん...
私の中に入るのかな...

素晴らしい
修行の成果だね

しかし
ここからだ

これから毎日お師さまが
お薬をあそこお尻に
塗り込んでくれます。

ズッ

ズッ

ガッ

ギョッ

ギョッ

ギョッ

ギョッ

ガッ

ギョッ

ギョッ

ギョッ



明日も二人の信徒の方の
穢れを祓います。
これからがんばらなくちゃ。

すぐッ果てて
しまいそうだった



こりゃあ
いかんッ



8月12日

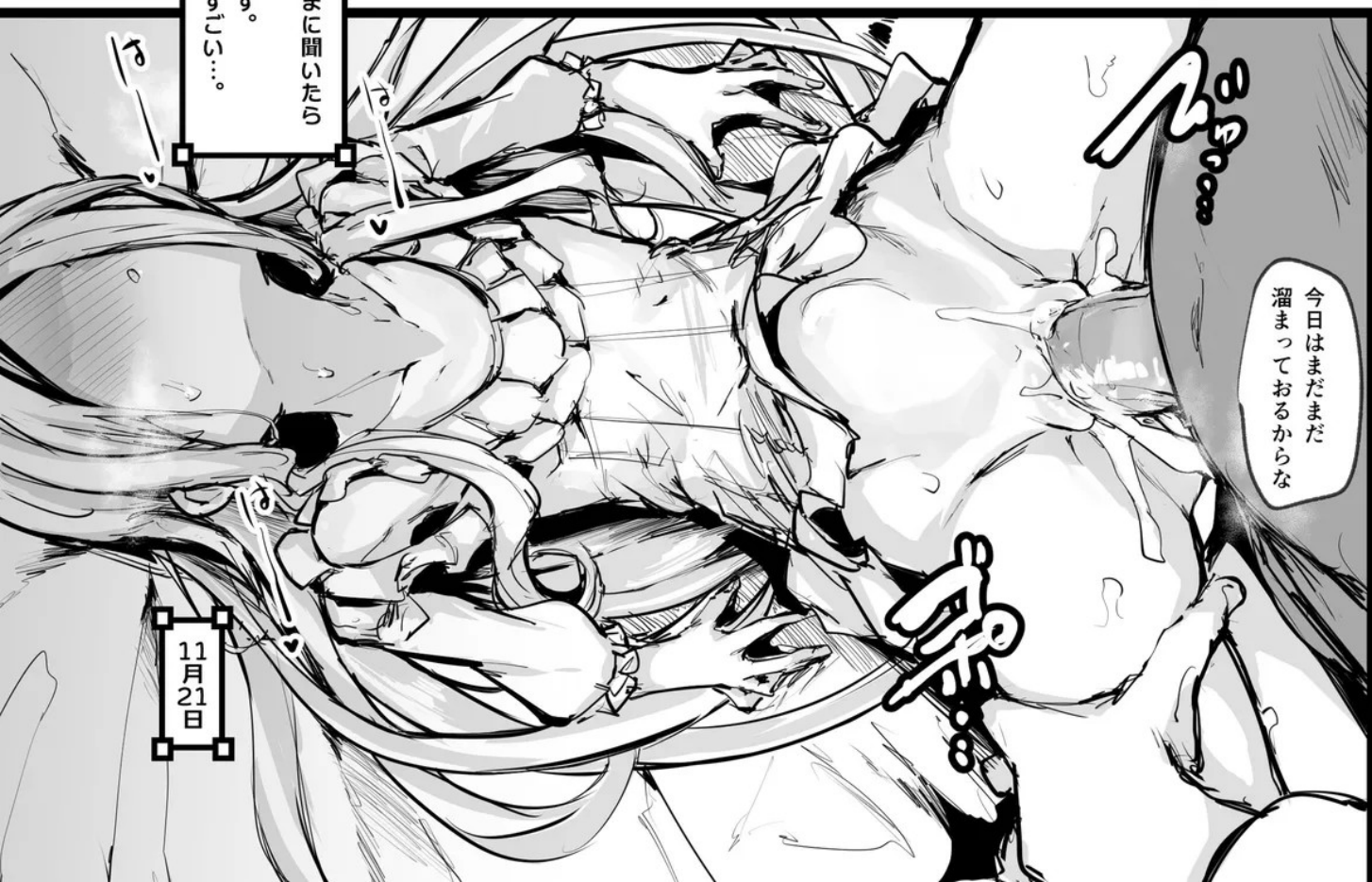
受け止めて
おくれッ





お薬を塗ってもらっていたら
体がツツツてなって
目の前がチカチカして
立てなくなりました…。

怖くなってお師さまに聞いたら
祝福で私の体が
喜んでるらしいです。
これが祝福の力…すごい…。



今日はまだまだ
溜まっておるからな

11月21日

ここにとろろ
何だか少し寂しい…
変な気持ちです…
ホームシック？って
いうみたいです。

さあ
綺麗に
しておくれ

リーチェ…
ママ…
みんなも
元気かな…？

自分から
腰を振って…
指を離して
くれないねえ

私は新しいおうちで
お師さまと
仲良く暮らしてるよ…。



今でも少し記憶が曖昧です。
でもいつまでも
くよくよしては
いられません。

んっ...



今度は自分で
挿入れてごらん

はい...



みっ...

12月3日
今日の信徒の方は
少し乱暴な方でした...
きつと穢れの影響だと思えます...



夜からは初めての
祈りの修行です。

んっ...

んっ...

んっ...

んっ...



始めはすごく痛いし
全然入らなくて
泣きそうでした。

じきに慣れる
そうですが…
ほんとかな…？

挿入り…っ
ました…♡

いい子だ



なんとか無事に
終えることが
できました。

次も…
わかるね？

ここまでたくさんの
祝福をいただいた
おかげです。



自分のペースで
いいんだよ

6月4日
今日でお師さまに
引き取っていただいて
1年が経ちました。



この頃はおちんちんを
嗅いだだけで
頭がぼーっとして
おまんこも濡れてきます。

心身共に巫女としての
自覚ができてきたんだと
思います。

動…きます…っ

そう
その調子

おおっ
おおお！
なんという
力強い腰使いっ

今日も祈りの修行中
何度もイッて
しまいました…。

お師さまのおちんちんは
とても遅く
繋がると私のお腹ごしに
どこまで入っているか
わかるくらいです。

細かに震えて…っ
腰を打ち付ける度
達しているのだね

実に
いじらしく
愛らしいッ

くっ

私の中に穢れを
吐き出すとき
お師さまは何度も
キスをしてくれます。

少し苦いけど
大好きな味です。
こんな日が
続きますように…

6月5日

さあ
お尻に向けて



今日は今までずっと
準備していたお尻で
お師さまの
お相手をしました。

準備は
してあるね？



はい…っ
キレイに
してあります

外側から
気持ちいい場所を
擦られるような
焦らすような
刺激があります…。

よろしい



お尻でするのも
好きになつて
しまいそうです…。

それじゃあ
挿入れてくから



いつもより体調が
優れないことを
お師さまに
相談しました。

12月3日

いきんで

めっ



するとお師さまは
穢れの真実を
教えてくださいました。

根元までっ
啜えこんで…ッ

丹念に準備した
甲斐もあった
というものっ

人は穢れより
生まれ出ずるものと。



あー

うわー

あー



不浄の穴までッ
こんなにも
こなれてっ

お師さまの穢れを祓うとき
おちんちんから感じる力強さも
快楽に呑み込まれそうになるのも
あのとき感じた温かさも。

そこに命の輝きが
あったからなのです。

もうすっかり
一人前の巫女だっ

本来人と穢れは
切っても切り離せぬ
ものということ。

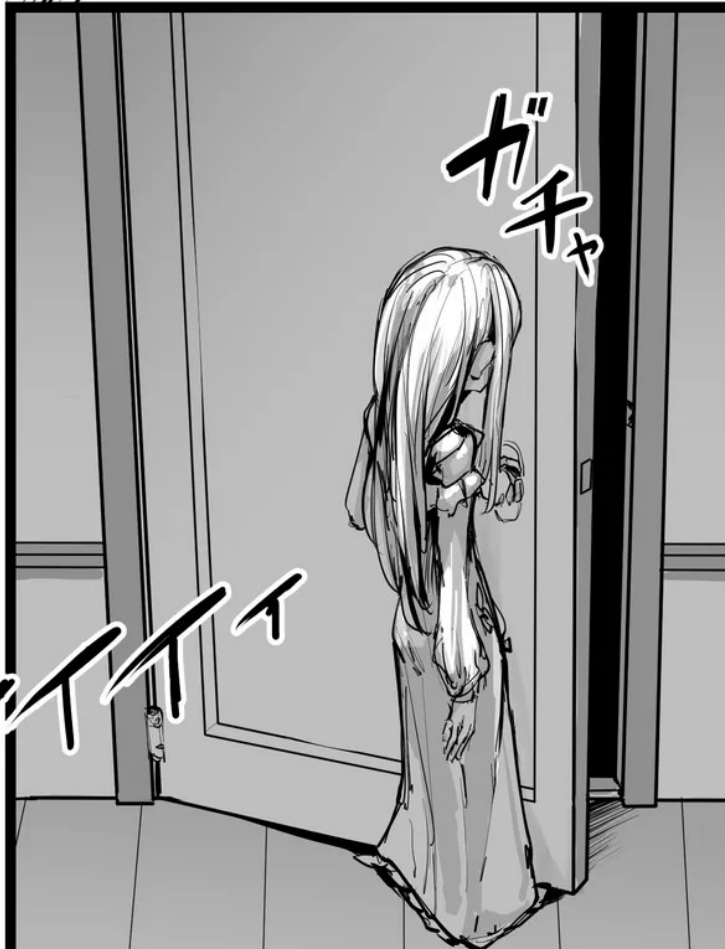
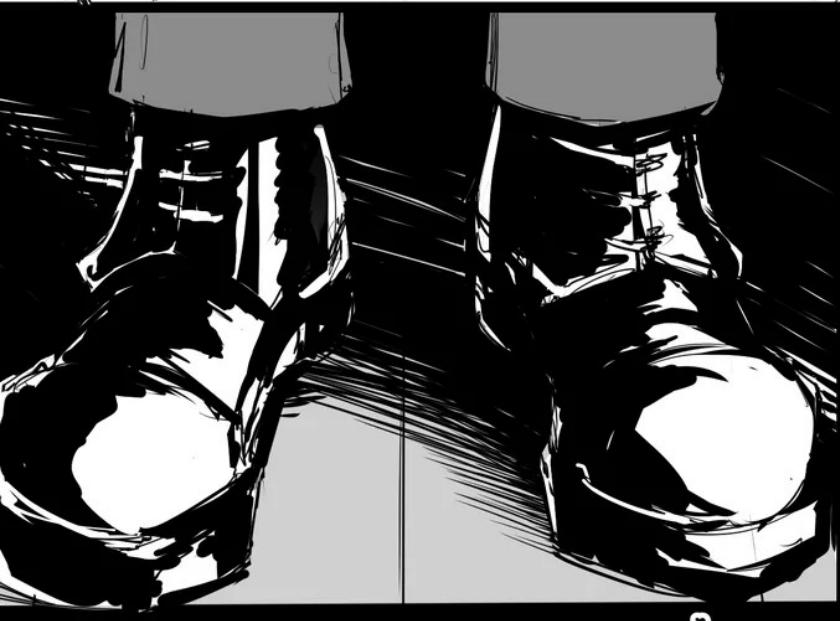
大好きなお師さまとの
子を授かるなんて…。

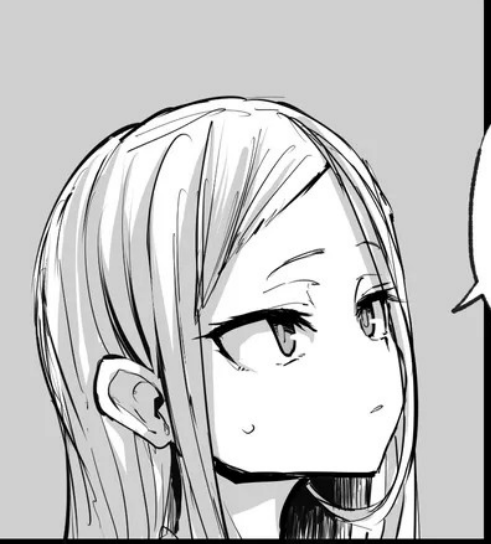
しっかり
受け止めるんだよっ











孤児院の…?



いえお構いなく
用があるのは
あなたですので

どうやっ…あの…
お師さまを呼んで
きま…しようか?



どうも



あー…
というかもう
こんな格好



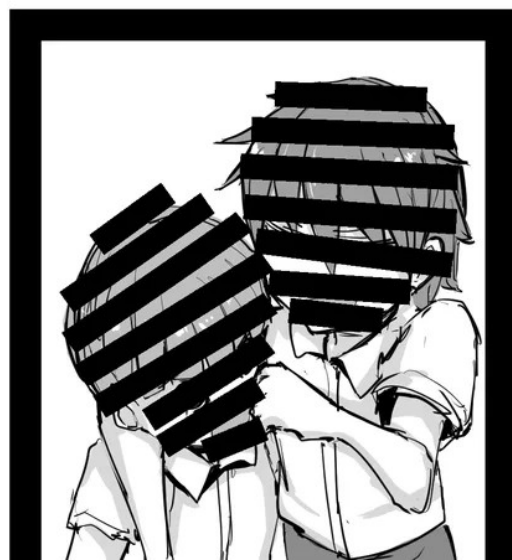
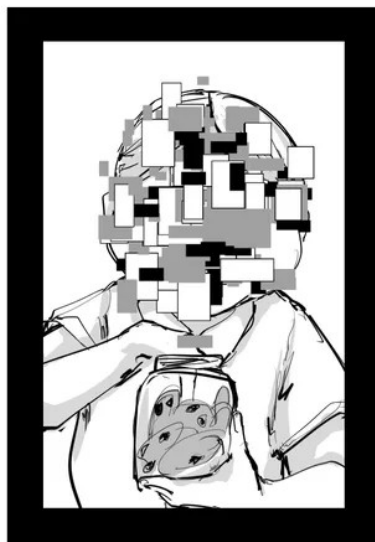
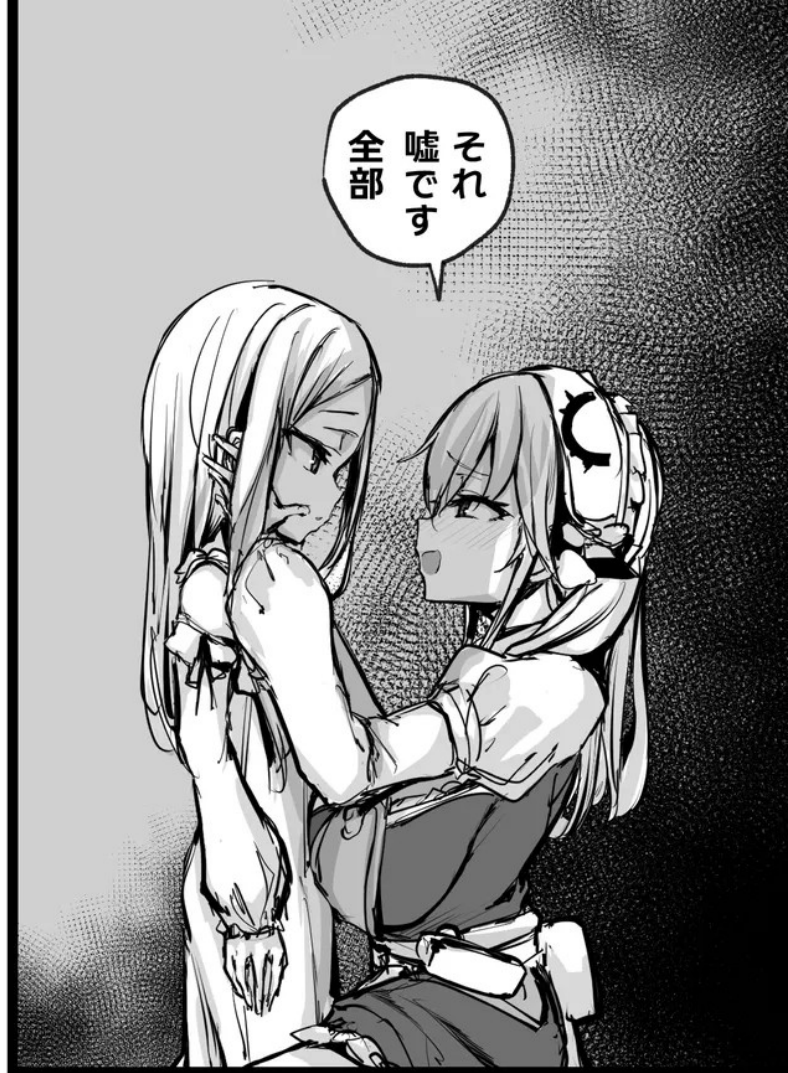
…?

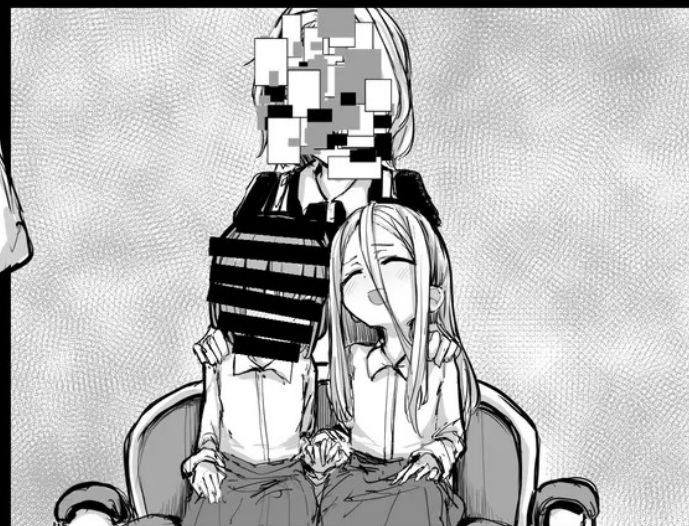
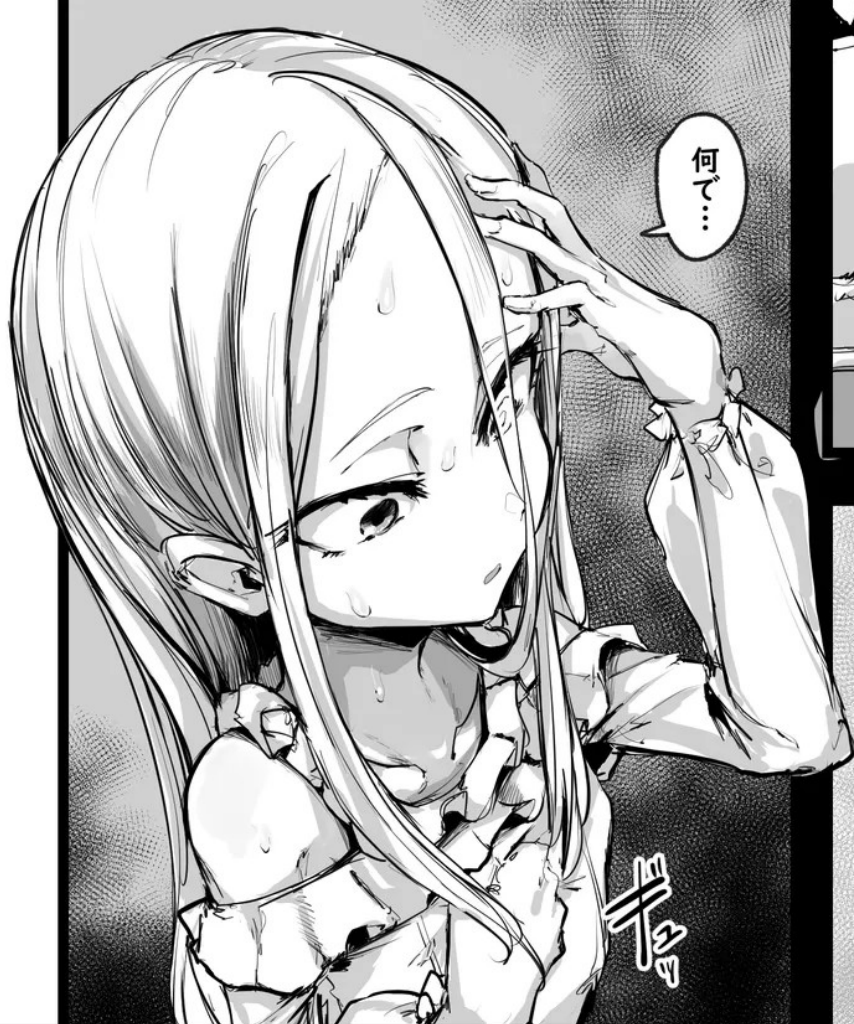
一年半…
時期尚早…ですが
優先事項の準備が
整いましたので



日記は…
ちゃんとつけている
みたいです
結構









あなたは可能性

まっさらなあなたが
ここで何を望まれ
何を得て
どんな色に染まるのか
あなた自身が
知りましたがっ
て
いるんです



私は
誰なんですか…？



…目を閉じて？



とっちゃおー

あ
目ももう隠さなくて
いいですね

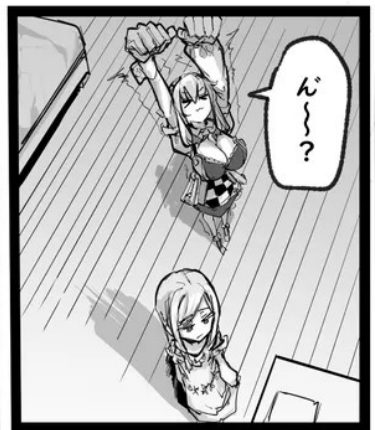
えーと
髪はこんなんでー

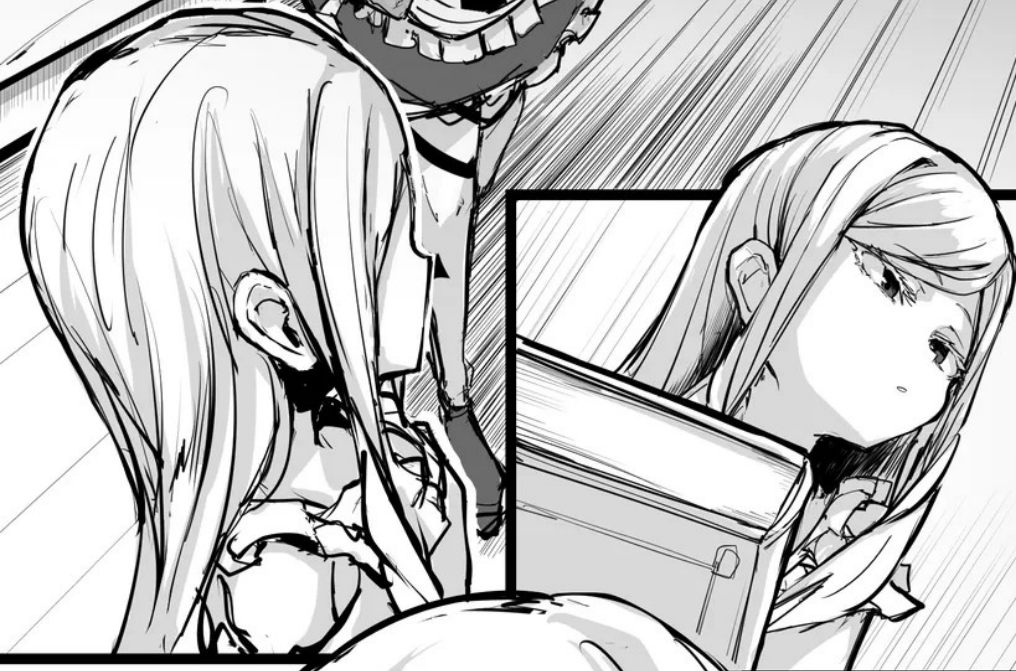
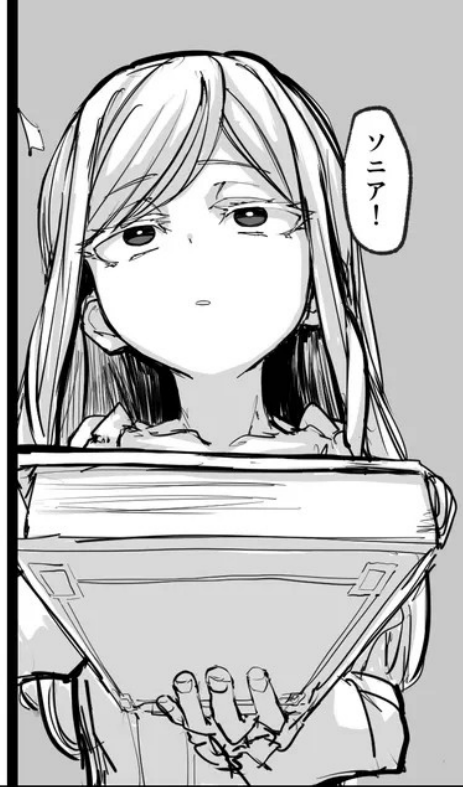
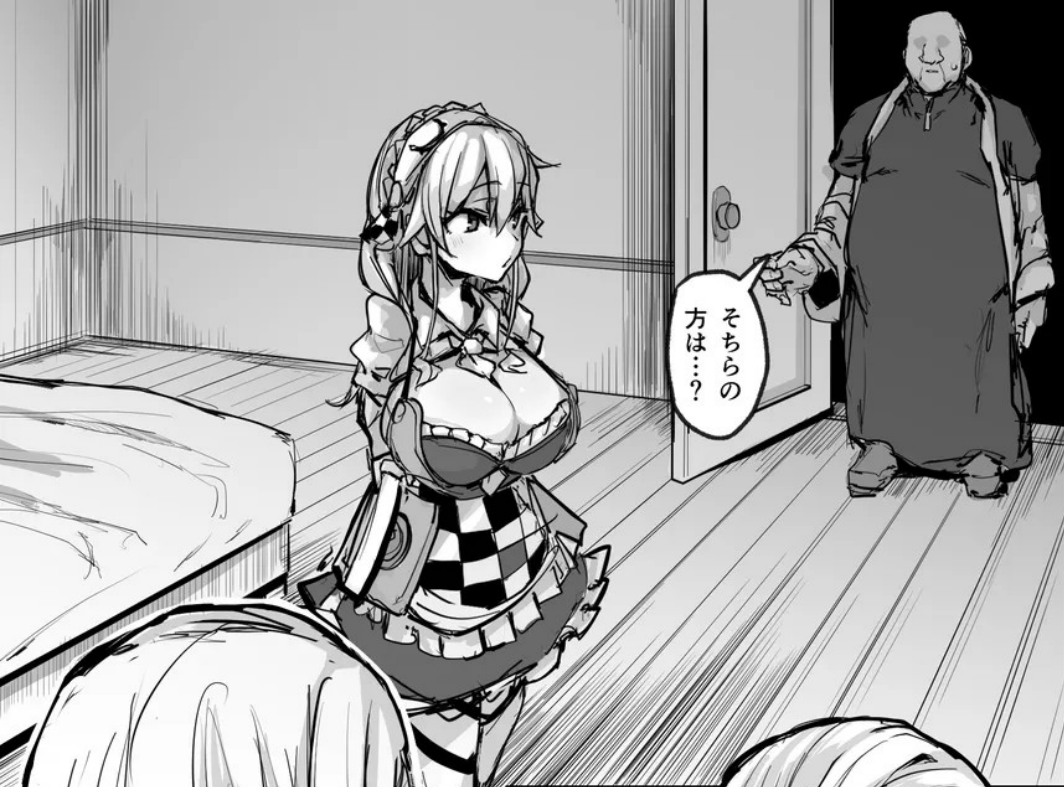


ご苦労様
結果は
どうだった？

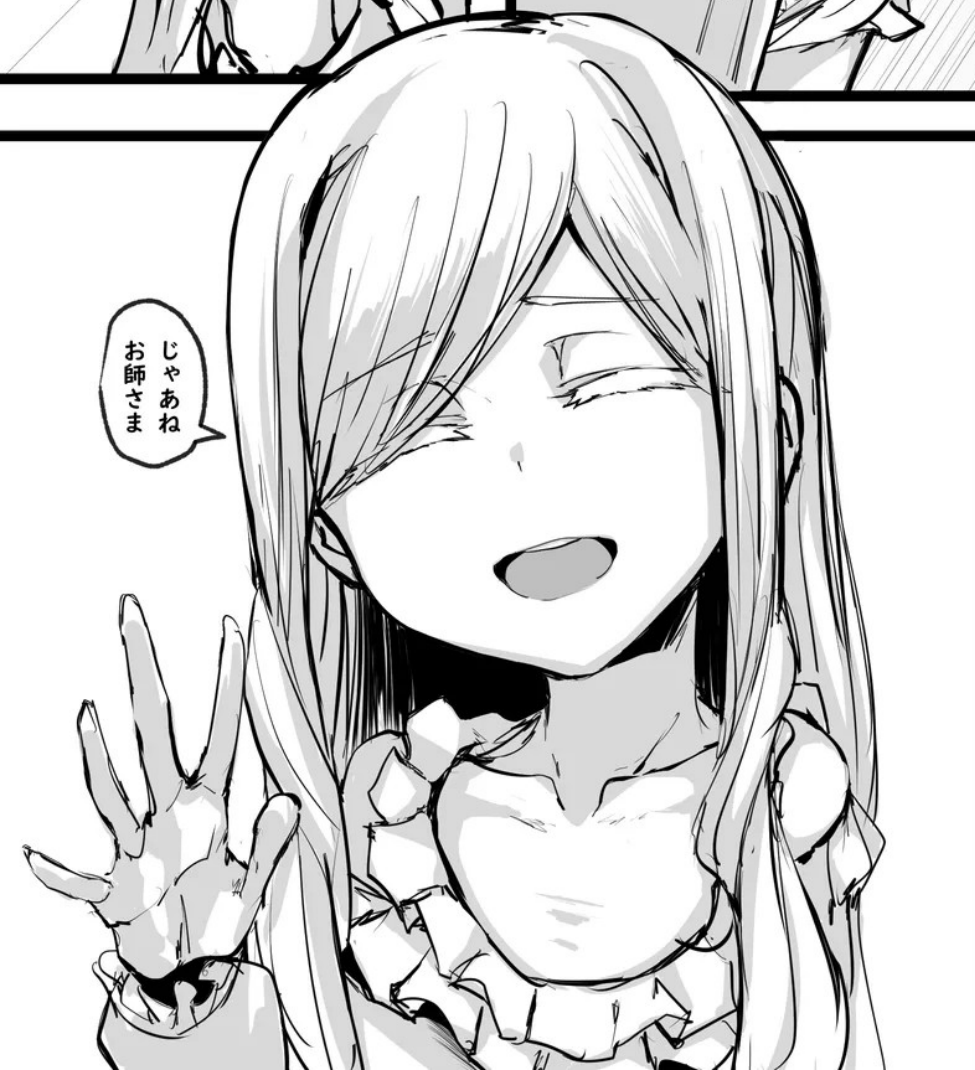
これでよしと！

迎えに
きましたよ
エンゼロちゃん
ご主人様

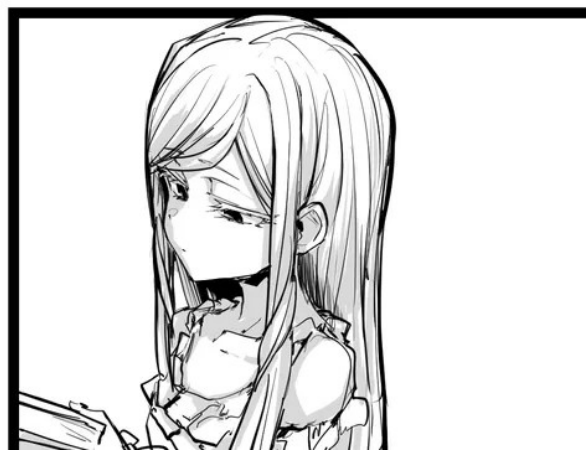
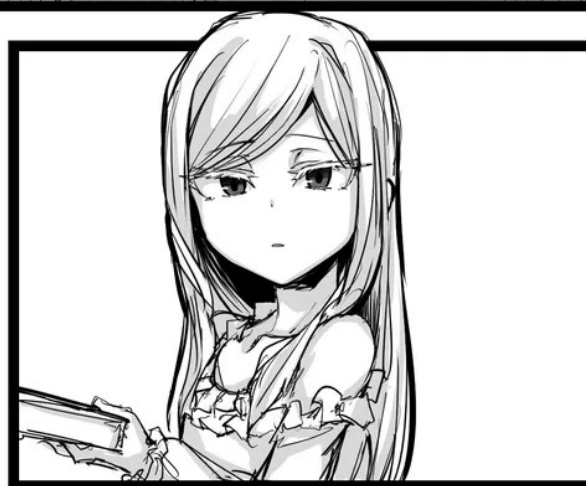


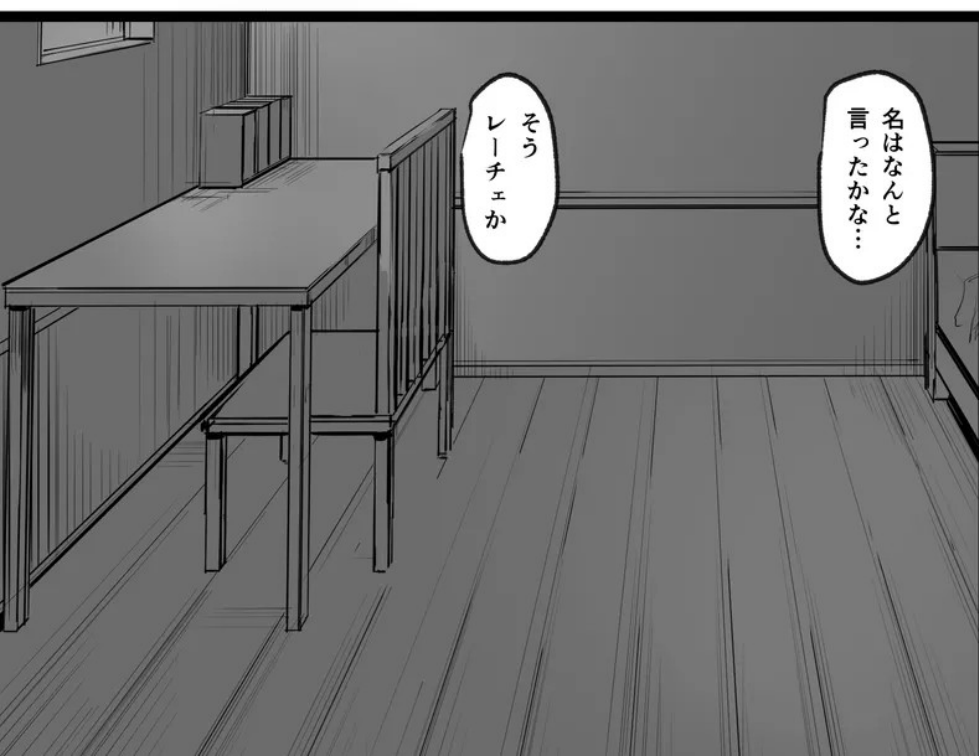
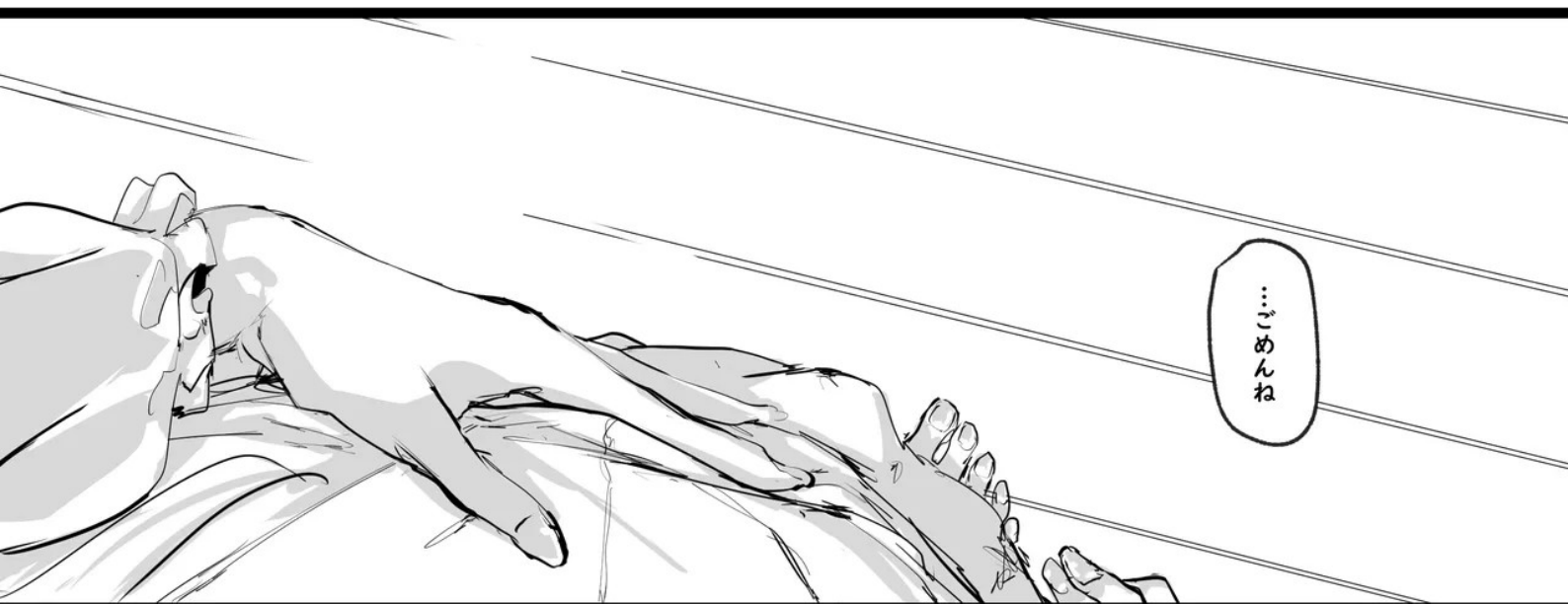


っ!その眼は
どうしたんだい!?



じゃあね
お師さま







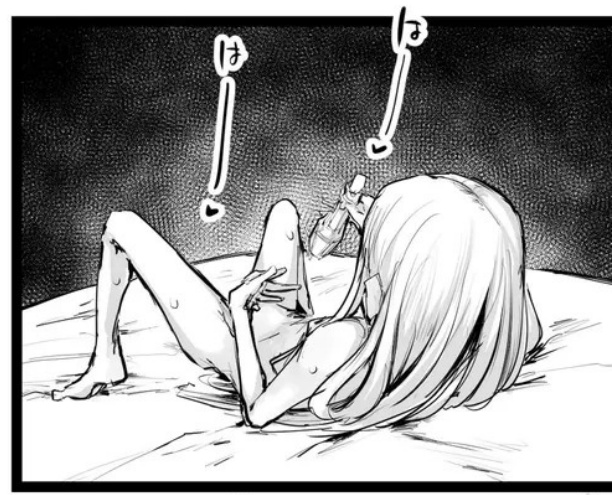
私たちの
穢れを…!

どうか私の…

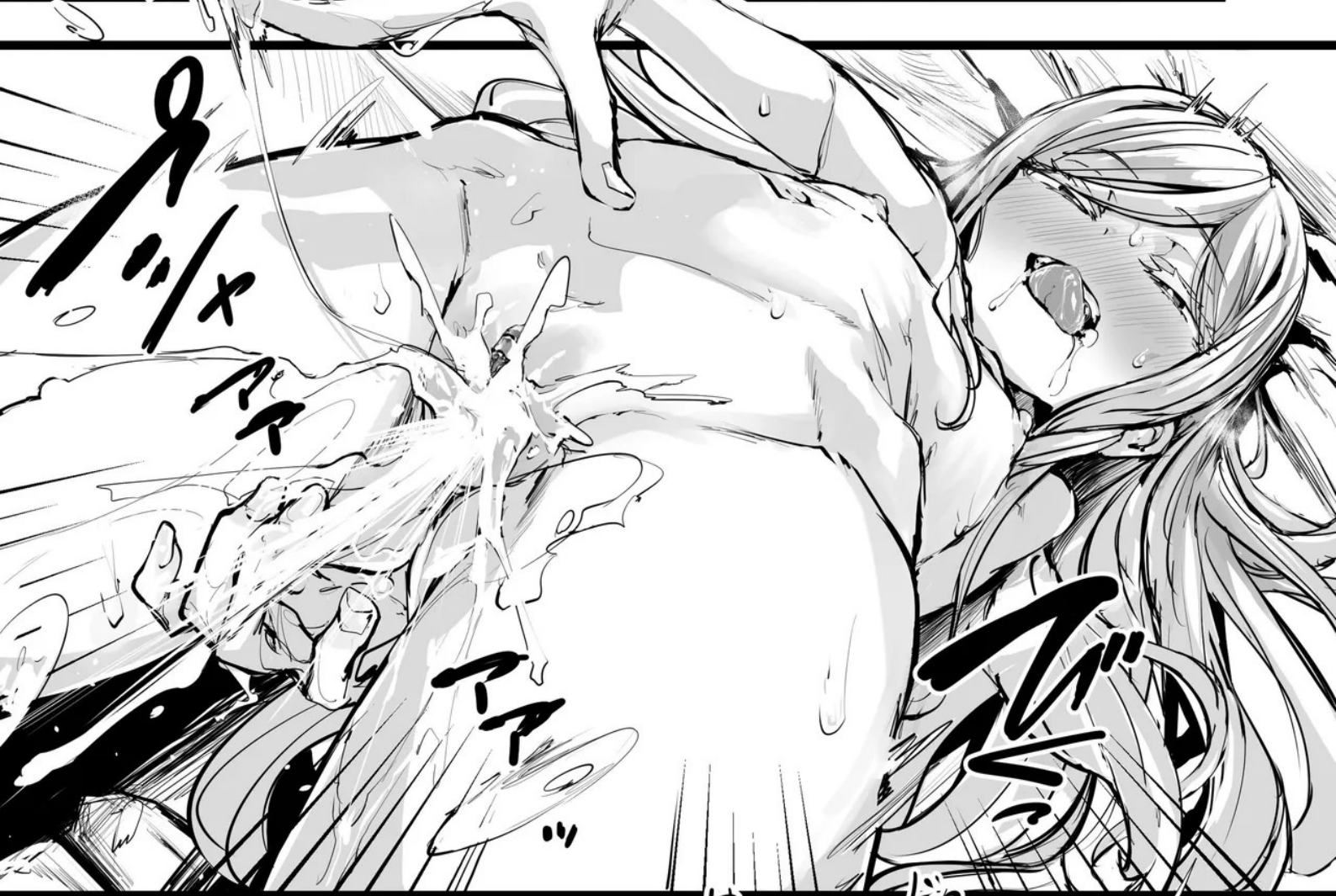


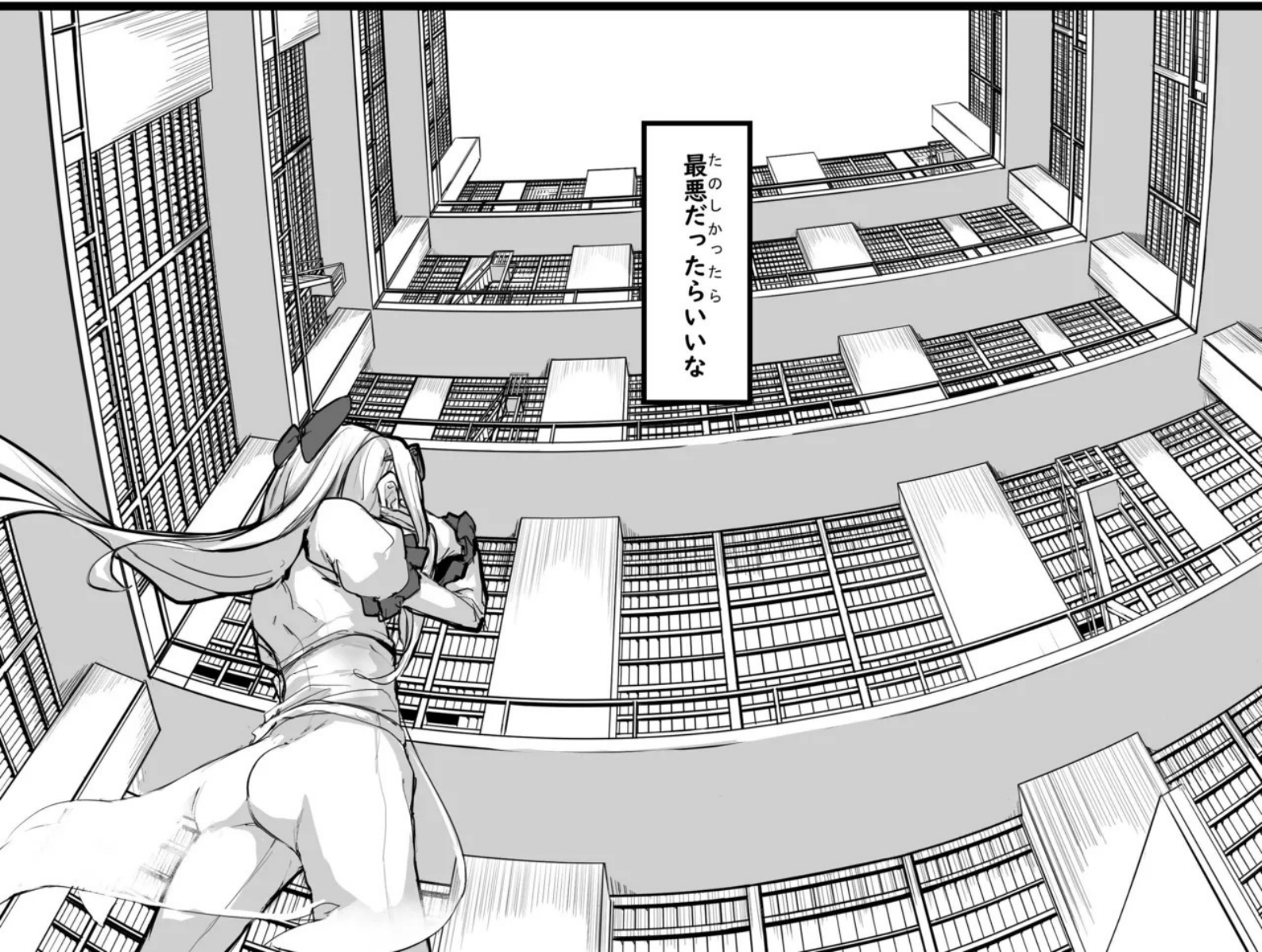
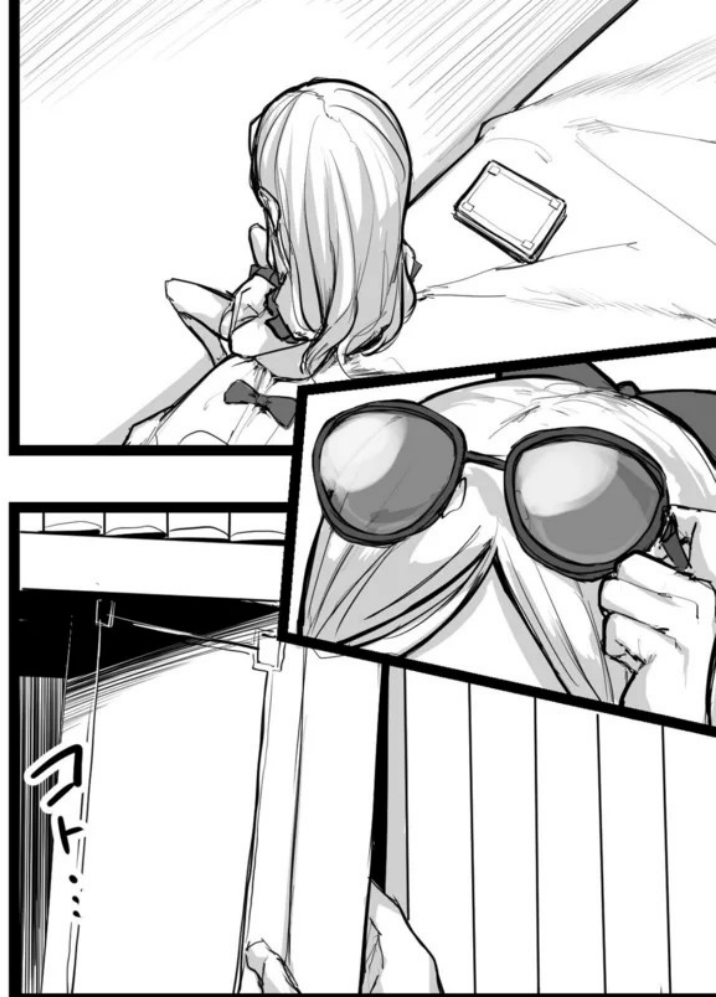
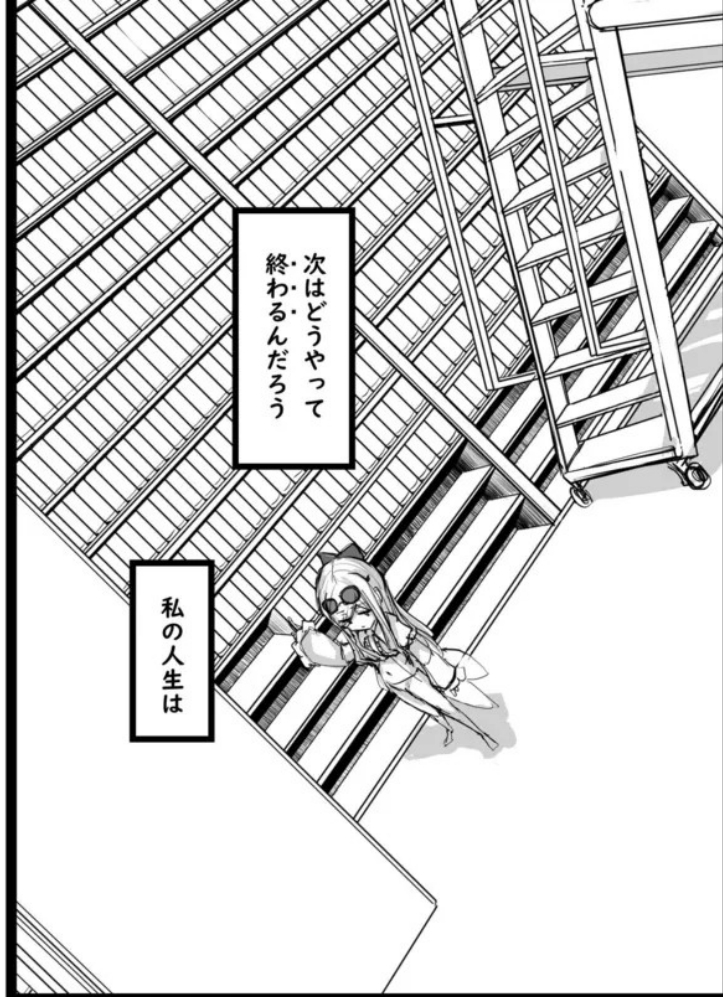
巫女様…

巫女様…











◆お手にとっていただきありがとうございます！

◆この物語はフィクションです。

実在する人物、団体、宗教とは関係ありません。

◆本書の転載、アップロード、複製を禁じます。

善意であっても本書を翻訳したものを不特定多数が
閲覧可能な場所にアップロードしてはいけません。

奥付
サークル：K2マンホール
発行人：P